

平成 29 年度決算の概要

平成 29 年度は、公益社団法人として 6 年目の決算となる。本会の決算書は、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準（以下「平成 20 年会計基準」という。）に基づき、大きく 3 つの会計区分となっている。「公益目的事業会計」「収益事業等会計」「法人会計」である。

1. 経常収益について

経常収益計 527,368 千円

- ① 受取入会金は 14,580 千円で、1,215 人と入会見込数を 85 名下回り、前年度決算と比較して 1,128 千円（94 人減）の減収となった。
- ② 受取会費は 71,750 千円で、14,350 人と見込会員数を 150 名上回り、前年度決算と比較して 580 千円（116 人増）の増収となった。
- ③ 介護保険報酬等は、224,595 千円となった。内訳は次のとおりである。
 - ・ 介護保険報酬 145,299 千円
 - ・ 医療保険報酬 70,951 千円
 - ・ 利用料 8,345 千円
- ④ 受講料は、45,374 千円で、前年度決算と比較して 6,960 千円の増収となった。
- ⑤ 茨城県委託収益は、12 事業で 134,483 千円となった。内訳は、次のとおりである。
 - ・ ナースセンター受託事業 49,550 千円
 - ・ 看護職員ブラッシュアップ研修事業 11,835 千円
 - ・ 母子保健センター相談事業 4,414 千円
 - ・ 訪問看護支援事業 16,646 千円
 - ・ 妊娠等専門相談窓口事業 4,232 千円
 - ・ 実務看護職員研修事業 430 千円
 - ・ 助産師出向支援導入事業 2,102 千円
 - ・ 看護介護連携体制構築・人材育成支援事業 9,967 千円
 - ・ 在宅医療推進体制整備事業 21,900 千円
 - ・ 認知症対応能力研修事業 1,230 千円
 - ・ いばらきがん患者トータルサポート事業 11,877 千円
 - ・ 医療従事者の WLB 推進ワークショップ事業 300 千円
- ⑥ 受取補助金は、看護職員就業相談員派遣面接事業 161 千円となった。
- ⑦ 日本看護協会から業務委託事業収益及び助成金として 11,219 千円となった。
- ⑧ 雑収益は、事務室賃貸料、協賛金など 20,139 千円となった。

2. 経常費用について

経常費用計 532,060 千円

- ① 公益目的事業会計の経常費用計の合計は 513,492 千円であった。
内訳は、次のとおりである。
 - ・ 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業 107,221 千円
 - ・ 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業 62,845 千円
 - ・ 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善等への提言に関する事業 6,053 千円

- ・健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業
81,867 千円
 - ・地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営
255,506 千円
- ② 収益事業等会計の経常費用計の合計は 6,927 千円であった。
- ③ 法人会計の経常費用計は 11,641 千円であった。

○ 公益法人の財務三基準を満たす決算

平成 29 年度正味財産増減計算書は、公益社団法人の要件として本会に求められる次のような財務三基準をクリアした内容になっている。

■ 公益法人の財務三基準

- ① 収支相償の原則：公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれること⇨資金を蓄積していないこと

⇒ 収入（経常収益） 503,913千円 < 支出（経常費用） 513,492千円

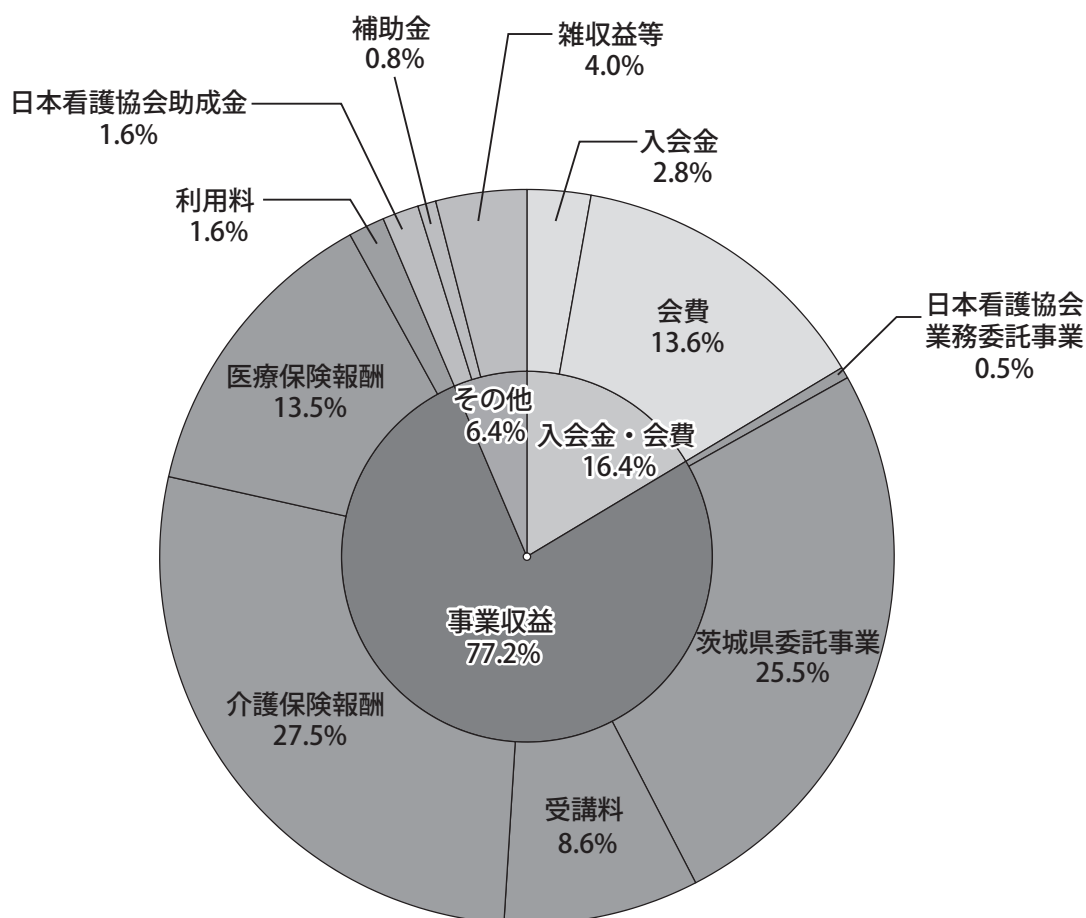
- ② 公益目的事業比率：50%以上（公益目的事業比率が100分の50以上となると見込まれるものであること）

⇒
$$\frac{\text{公益目的事業の経常費用 } 513,492\text{千円}}{\text{全体の経常費用 } 532,060\text{千円}} = 96.5\%$$

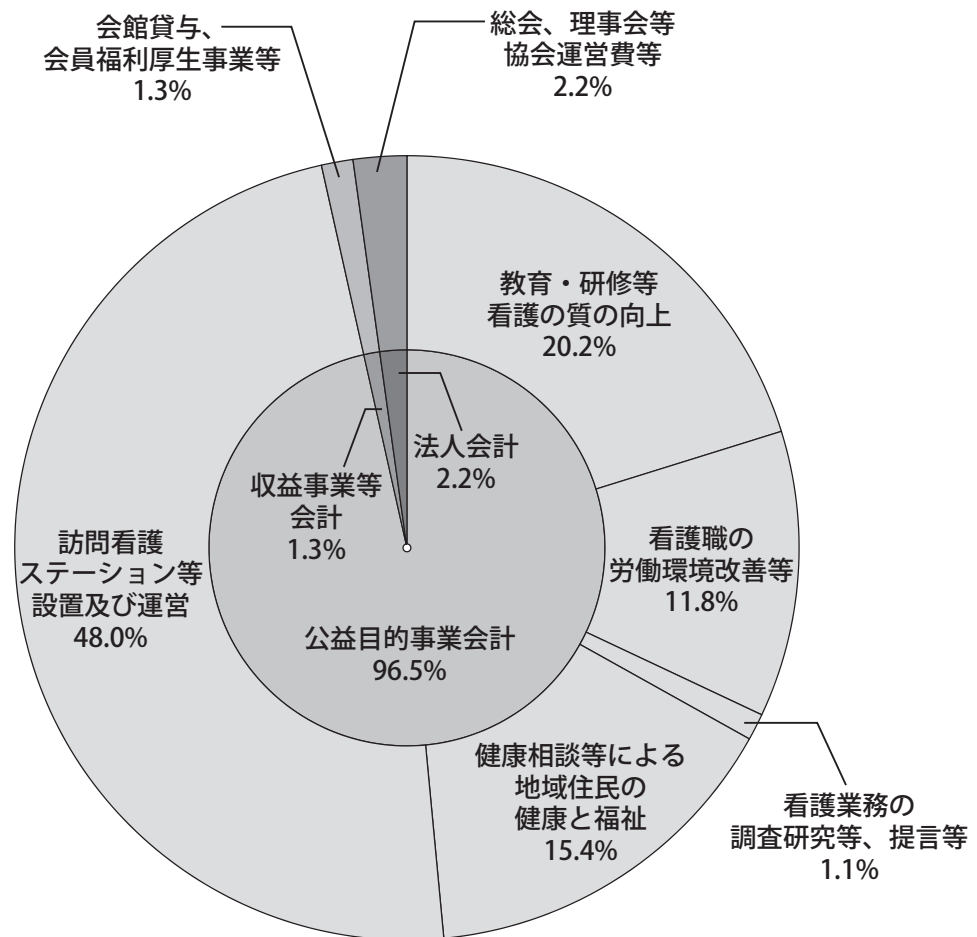
- ③ 遊休財産額保有制限：法人純資産のうち、用途の定まらないものの額が公益目的事業に係る費用を超えないこと

⇒ 遊休財産額 305,944千円 < 公益目的事業の経常費用 513,492千円

【平成 29 年度 経常収益計（527,368 千円）】



【平成 29 年度 経常費用計（532,060 千円）】



会計区分	定款事業名	金額(千円)	構成比(%)
公益目的事業会計	教育・研修等看護の質の向上	107,221	20.2%
	看護職の労働環境改善等	62,845	11.8%
	看護業務の調査研究等、提言等	6,053	1.1%
	健康相談等による地域住民の健康と福祉	81,867	15.4%
	訪問看護ステーション等設置及び運営	255,506	48.0%
公益目的事業会計 計		513,492	96.5%
収益事業等会計	会館貸与、会員福利厚生事業等	6,927	1.3%
法人会計	総会、理事会等協会運営費等	11,641	2.2%
合計		532,060	100.0%

貸借対照表

平成30年3月31日現在

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	172,216,972	143,716,568	28,500,404
未収金	66,846,975	66,945,715	△ 98,740
前払金	988,475	61,310	927,165
仮払金	3,200	0	3,200
流動資産合計	240,055,622	210,723,593	29,332,029
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
建物	139,187,878	143,344,118	△ 4,156,240
建物附属設備	4,548	9,095	△ 4,547
基本財産引当資産	2,508,630	2,508,606	24
減価償却引当資産	112,054,356	112,051,332	3,024
運営準備引当資産	42,327,638	42,323,414	4,224
退職給付引当資産	51,739,200	53,975,105	△ 2,235,905
会館維持積立資産	5,145,558	5,145,508	50
特定資産合計	352,967,808	359,357,178	△ 6,389,370
(3) その他固定資産			
建物	197,250,787	201,524,414	△ 4,273,627
建物附属設備	107,078,951	118,780,476	△ 11,701,525
構築物	3,875,452	4,289,803	△ 414,351
車両運搬具	2	796,801	△ 796,799
什器備品	6,169,623	10,101,079	△ 3,931,456
土地	44,064,550	44,064,550	0
借地権	1,053,728	1,053,728	0
電話加入権	240,000	240,000	0
ソフトウェア	0	452,879	△ 452,879
敷金	70,000	70,000	0
その他固定資産合計	359,803,093	381,373,730	△ 21,570,637
固定資産合計	712,770,901	740,730,908	△ 27,960,007
資産合計	952,826,523	951,454,501	1,372,022
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	27,261,472	25,513,048	1,748,424
前受金	54,524,720	49,767,000	4,757,720
預り金	9,584,296	5,249,812	4,334,484
未払法人税等	82,000	82,000	0
未払消費税等	2,186,300	4,542,900	△ 2,356,600
流動負債合計	93,638,788	85,154,760	8,484,028
2. 固定負債			
退職給付引当金	51,739,200	53,975,100	△ 2,235,900
長期未払金	0	730,400	△ 730,400
固定負債合計	51,739,200	54,705,500	△ 2,966,300
負債合計	145,377,988	139,860,260	5,517,728
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
茨城県補助金	95,159,181	98,003,711	△ 2,844,530
民間補助金	35,598,463	36,662,584	△ 1,064,121
寄付金	8,434,782	8,686,918	△ 252,136
指定正味財産合計	139,192,426	143,353,213	△ 4,160,787
(うち特定資産への充当額)	(139,192,426)	(143,353,213)	(△ 4,160,788)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	668,256,109	668,241,028	15,081
一般正味財産合計	668,256,109	668,241,028	15,081
(うち特定資産への充当額)	(162,036,182)	(162,028,860)	(7,322)
正味財産合計	807,448,535	811,594,241	△ 4,145,706
負債及び正味財産合計	952,826,523	951,454,501	1,372,022

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	11,245	45,166	△ 33,921
特定資産受取利息	11,245	45,166	△ 33,921
受取入会金	14,580,000	15,708,000	△ 1,128,000
受取入会金	14,580,000	15,708,000	△ 1,128,000
受取会費	71,750,000	71,170,000	580,000
受取会費	71,750,000	71,170,000	580,000
事業収益	407,074,359	397,982,550	9,091,809
介護保険報酬	145,299,101	154,466,221	△ 9,167,120
医療保険報酬	70,951,107	63,555,259	7,395,848
受講料	45,373,873	38,414,480	6,959,393
利用料	8,344,506	8,884,292	△ 539,786
日本看護協会業務委託事業収益	2,622,596	3,157,700	△ 535,104
茨城県委託収益	134,483,176	129,504,598	4,978,578
受取助成金	8,596,380	8,564,740	31,640
日本看護協会助成金	8,596,380	8,564,740	31,640
受取補助金等	4,069,651	4,119,555	△ 49,904
受取補助金	161,000	174,000	△ 13,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,844,530	2,871,387	△ 26,857
受取民間補助金振替額	1,064,121	1,074,168	△ 10,047
受取寄付金	1,135,030	1,095,551	39,479
受取募金	882,894	841,035	41,859
受取寄付金振替額	252,136	254,516	△ 2,380
雑収益	20,151,280	17,292,286	2,858,994
受取利息	11,939	6,523	5,416
雑収益	20,139,341	17,285,763	2,853,578
経常収益計	527,367,945	515,977,848	11,390,097
(2) 経常費用			
事業費	520,419,035	504,016,624	16,402,411
役員報酬	19,085,908	19,036,689	49,219
給料手当	143,600,528	151,423,024	△ 7,822,496
臨時雇賃金	112,355,529	96,134,197	16,221,332
退職慰労金	1,095,417	0	1,095,417
退職給付費用	7,211,043	9,950,423	△ 2,739,380
福利厚生費	37,681,786	36,755,055	926,731
会館運営費	8,199,629	10,224,737	△ 2,025,108
施設維持費	1,383,612	1,353,102	30,510
旅費交通費	10,315,808	10,642,742	△ 326,934
研修費	907,007	260,298	646,709
通信運搬費	9,171,436	10,584,307	△ 1,412,871
医療材料費	131,593	173,678	△ 42,085
減価償却費	26,517,288	34,192,603	△ 7,675,315
消耗什器備品費	275,382	365,900	△ 90,518
消耗品費	11,790,924	9,395,137	2,395,787
修繕費	4,077,903	2,176,368	1,901,535
印刷製本費	14,804,658	14,603,350	201,308
燃料費	2,097,531	1,970,536	126,995
光熱水料費	8,034,900	7,155,499	879,401
賃借料	41,473,659	32,832,530	8,641,129
保険料	1,614,242	1,941,955	△ 327,713
報償費	32,456,487	27,665,748	4,790,739
租税公課	10,790,596	4,297,406	6,493,190
支払負担金	935,766	6,032,793	△ 5,097,027
委託費	5,593,872	6,796,236	△ 1,202,364
会議費	1,732,969	1,262,443	470,526
広告宣伝費	2,626,532	2,003,664	622,868
支払手数料	1,668,741	1,977,838	△ 309,097
食糧費	2,614,322	2,531,658	82,664
雑費	173,967	218,708	△ 44,741
交際費	0	58,000	△ 58,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	11,640,829	13,126,284	△ 1,485,455
役員報酬	2,338,952	1,677,878	661,074
給料手当	1,791,213	1,881,022	△ 89,809
臨時雇賃金	509,891	326,924	182,967
退職慰労金	100,583	0	100,583
退職給付費用	83,157	462,177	△ 379,020
福利厚生費	455,588	549,330	△ 93,742
会館運営費	252,610	316,228	△ 63,618
旅費交通費	589,289	600,413	△ 11,124
通信運搬費	219,730	1,041,971	△ 822,241
減価償却費	288,578	311,501	△ 22,923
消耗什器備品費	298,188	0	298,188
消耗品費	320,660	331,813	△ 11,153
修繕費	17,655	7,437	10,218
印刷製本費	687,717	2,696,309	△ 2,008,592
燃料費	0	418	△ 418
光熱水料費	159,891	140,533	19,358
渉外費	40,000	0	40,000
賃借料	354,155	664,000	△ 309,845
保険料	9,338	24,611	△ 15,273
諸謝金	1,572,144	1,514,725	57,419
租税公課	50,313	97,406	△ 47,093
支払寄付金	121,600	0	121,600
委託費	356,400	0	356,400
会議費	479,929	385,060	94,869
広告宣伝費	453,600	0	453,600
支払手数料	89,648	96,454	△ 6,806
雑費	0	74	△ 74
経常費用計	532,059,864	517,142,908	14,916,956
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,691,919	△ 1,165,060	△ 3,526,859
当期経常増減額	△ 4,691,919	△ 1,165,060	△ 3,526,859
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	4,789,000		4,789,000
過年度受取会費等修正益	4,789,000		4,789,000
固定資産売却益	0	53,999	△ 53,999
車両運搬具売却益	0	53,999	△ 53,999
経常外収益計	4,789,000	53,999	4,735,001
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	6	△ 6
車両運搬具除却損	0	6	△ 6
経常外費用計	0	6	△ 6
当期経常外増減額	4,789,000	53,993	4,735,007
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	97,081	△ 1,111,067	1,208,148
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	0
当期一般正味財産増減額	15,081	△ 1,193,067	1,208,148
一般正味財産期首残高	668,241,028	669,434,095	△ 1,193,067
一般正味財産期末残高	668,256,109	668,241,028	15,081
II 指定正味財産増減の部			
(1) 一般正味財産への振替額	△ 4,160,787	△ 4,200,071	39,284
一般正味財産への振替額	△ 4,160,787	△ 4,200,071	39,284
受取補助金等	△ 3,908,651	△ 3,945,555	36,904
受取地方公共団体補助金	△ 2,844,530	△ 2,871,387	26,857
受取民間補助金	△ 1,064,121	△ 1,074,168	10,047
受取寄付金	△ 252,136	△ 254,516	2,380
受取寄付金	△ 252,136	△ 254,516	2,380
当期指定正味財産増減額	△ 4,160,787	△ 4,200,071	△ 39,284
指定正味財産期首残高	143,353,213	147,553,284	△ 4,200,071
指定正味財産期末残高	139,192,426	143,353,213	△ 4,239,355
III 正味財産期末残高	807,448,535	811,594,241	△ 4,224,274

正味財産増減計算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	9,130	0	2,115		11,245
特定資産受取利息	9,130	0	2,115		11,245
受取入会金	12,538,800	291,600	1,749,600		14,580,000
受取入会金	12,538,800	291,600	1,749,600		14,580,000
受取会費	61,705,000	1,435,000	8,610,000		71,750,000
受取会費	61,705,000	1,435,000	8,610,000		71,750,000
事業収益	404,823,939	2,250,420	0		407,074,359
介護保険報酬	145,299,101	0	0		145,299,101
医療保険報酬	70,951,107	0	0		70,951,107
受講料	45,373,873	0	0		45,373,873
利用料	8,344,506	0	0		8,344,506
日本看護協会業務委託事業収益	372,176	2,250,420	0		2,622,596
茨城県委託収益	134,483,176	0	0		134,483,176
受取助成金	8,596,380	0	0		8,596,380
日本看護協会助成金	8,596,380	0	0		8,596,380
受取補助金等	3,937,927	71,528	60,196		4,069,651
受取補助金	161,000	0	0		161,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,748,668	52,055	43,807		2,844,530
受取民間補助金振替額	1,028,259	19,473	16,389		1,064,121
受取寄付金	243,640	4,614	886,776		1,135,030
受取募金	0	0	882,894		882,894
受取寄付金振替額	243,640	4,614	3,882		252,136
雑収益	8,108,333	10,834,494	1,208,453		20,151,280
受取利息	2,951	0	8,988		11,939
雑収益	8,105,382	10,834,494	1,199,465		20,139,341
経常収益計	499,963,149	14,887,656	12,517,140		527,367,945
(2) 経常費用					
事業費	513,491,703	6,927,332			520,419,035
役員報酬	18,966,828	119,080			19,085,908
給料手当	142,196,252	1,404,276			143,600,528
臨時雇賃金	110,652,305	1,703,224			112,355,529
退職慰労金	1,088,720	6,697			1,095,417
退職給付費用	7,145,879	65,164			7,211,043
福利厚生費	37,317,949	363,837			37,681,786
会館運営費	7,955,439	244,190			8,199,629
施設維持費	1,383,612	0			1,383,612
旅費交通費	10,106,410	209,398			10,315,808
研修費	907,007	0			907,007
通信運搬費	8,734,259	437,177			9,171,436
医療材料費	131,593	0			131,593
減価償却費	26,147,947	369,341			26,517,288
消耗什器備品費	275,382	0			275,382
消耗品費	11,514,965	275,959			11,790,924
修繕費	4,059,071	18,832			4,077,903
印刷製本費	14,769,234	35,424			14,804,658
燃料費	2,097,531	0			2,097,531
光熱水料費	7,880,339	154,561			8,034,900
賃借料	41,354,965	118,694			41,473,659
保険料	1,605,215	9,027			1,614,242
報償費	32,302,487	154,000			32,456,487
租税公課	10,275,514	515,082			10,790,596
支払負担金	238,300	697,466			935,766
委託費	5,593,872	0			5,593,872
会議費	1,730,881	2,088			1,732,969
広告宣伝費	2,626,532	0			2,626,532
支払手数料	1,644,926	23,815			1,668,741
食糧費	2,614,322	0			2,614,322
雑費	173,967	0			173,967
管理費			11,640,829		11,640,829
役員報酬			2,338,952		2,338,952
給料手当			1,791,213		1,791,213
臨時雇賃金			509,891		509,891
退職慰労金			100,583		100,583
退職給付費用			83,157		83,157
福利厚生費			455,588		455,588
会館運営費			252,610		252,610
旅費交通費			589,289		589,289
通信運搬費			219,730		219,730
減価償却費			288,578		288,578
消耗什器備品費			298,188		298,188
消耗品費			320,660		320,660
修繕費			17,655		17,655
印刷製本費			687,717		687,717
光熱水料費			159,891		159,891
渉外費			40,000		40,000
賃借料			354,155		354,155
保険料			9,338		9,338
諸謝金			1,572,144		1,572,144
租税公課			50,313		50,313
支払負担金			121,600		121,600
委託費			356,400		356,400
会議費			479,929		479,929
広告宣伝費			453,600		453,600

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
支払手数料			89,648		89,648
経常費用計	513,491,703	6,927,332	11,640,829		532,059,864
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,528,554	7,960,324	876,311		△ 4,691,919
当期経常増減額	△ 13,528,554	7,960,324	876,311		△ 4,691,919
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
過年度損益修正益	4,118,540	95,780	574,680		4,789,000
過年度受取会費等修正益	4,118,540	95,780	574,680		4,789,000
経常外収益計	4,118,540	95,780	574,680		4,789,000
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	4,118,540	95,780	574,680		4,789,000
他会計振替額	3,950,576	△ 3,950,576	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,459,438	4,105,528	1,450,991		97,081
法人税、住民税及び事業税	0	0	82,000		82,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,459,438	4,105,528	1,368,991		15,081
一般正味財産期首残高					668,241,028
一般正味財産期末残高					668,256,109
II 指定正味財産増減の部					
(1) 一般正味財産への振替額					△ 4,160,787
一般正味財産への振替額					△ 4,160,787
受取補助金等					△ 3,908,651
受取地方公共団体補助金					△ 2,844,530
受取民間補助金					△ 1,064,121
受取寄付金					△ 252,136
受取寄付金					△ 252,136
当期指定正味財産増減額					△ 4,160,787
指定正味財産期首残高					143,353,213
指定正味財産期末残高					139,192,426
III 正味財産期末残高					807,448,535

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・定額法による減価償却を実施している。
 建物附属設備・・・定額法による減価償却を実施している。
 構築物・・・定額法による減価償却を実施している。
 車輛運搬具・・・定額法による減価償却を実施している。
 什器備品・・・定額法による減価償却を実施している。
 ソフトウェア・・・定額法による減価償却を実施している。
 ただし、平成19年3月31日以前に取得した固定資産については旧定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末自己都合退職給与の要支給額の100%を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
建 物	143,344,118	0	4,156,240	139,187,878
建 物 付 属 設 備	9,095	0	4,547	4,548
基本財産引当資産	2,508,606	24	0	2,508,630
減価償却引当資産	112,051,332	3,024	0	112,054,356
運営準備引当資産	42,323,414	4,224	0	42,327,638
退職給付引当資産	53,975,105	8,490,195	10,726,100	51,739,200
会館維持積立資産	5,145,508	50	0	5,145,558
小 計	359,357,178	8,497,517	14,886,887	352,967,808
合 計	359,357,178	8,497,517	14,886,887	352,967,808

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
建 物	139,187,878	(139,187,878)	—	—
建 物 付 属 設 備	4,548	(4,548)	—	—
基本財産引当資産	2,508,630	—	(2,508,630)	—
減価償却引当資産	112,054,356	—	(112,054,356)	—
運営準備引当資産	42,327,638	—	(42,327,638)	—
退職給付引当資産	51,739,200	—	—	(51,739,200)
会館維持積立資産	5,145,558	—	(5,145,558)	—
小 計	352,967,808	(139,192,426)	(162,036,182)	(51,739,200)
合 計	352,967,808	(139,192,426)	(162,036,182)	(51,739,200)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	458,993,920	122,555,255	336,438,665
建物附属設備	245,735,391	138,651,892	107,083,499
構築物	30,354,011	26,478,559	3,875,452
車輜運搬具	11,174,610	11,174,608	2
什器備品	62,556,980	56,387,357	6,169,623
ソフトウェア	4,099,991	4,099,991	0
合 計	812,914,903	359,347,662	453,567,241

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記 載 区 分
補助金						
看護職員就業相談 員派遣面接事業補 助金	茨城県	0	161,000	161,000	0	一般正味財産
地方公共団体補助金	茨城県	98,003,711	0	2,844,530	95,159,181	指定正味財産
民間補助金	日本自転車振興会	36,662,584	0	1,064,121	35,598,463	指定正味財産
助成金						
教育事業に対する 助成金	日本看護協会	0	8,496,380	8,496,380	0	一般正味財産
看護の普及啓発事 業に対する助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
合 計		134,666,295	8,757,380	12,666,031	130,757,644	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	4,160,787
合 計	4,160,787

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

財務諸表の注記に記載しているので内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	53,975,100	8,490,200	10,726,100	0	51,739,200
	53,975,100	8,490,200	10,726,100	0	51,739,200

財産目録

平成30年 3月31日現在

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)					
	現金 預金	手許有高 (普通預金)	運転資金として	53,857	
		常陽銀行下市支店	同 上	121,325,670	
		常陽銀行鹿島支店	同 上	12,151,669	
		常陽銀行高津支店	同 上	18,231,212	
		三菱東京UFJ銀行水戸支店	同 上	201,690	
		みずほ銀行水戸支店	同 上	120,754	
		ゆうちょ銀行 (定期預金)	同 上	132,120	
		常陽銀行下市支店	同 上	20,000,000	
		(現金・預金計)			172,216,972
		未収金	茨城県 他	茨城県委託事業の委託料収入の 未収金他である。	66,846,975
(未収金計)			66,846,975		
前払金	公用車 他	公用車リサイクル料他である。	988,475		
(前払金計)			988,475		
仮払金	セミナー受講料 他	平成30年度報酬改定活用セミ ナー受講料の仮払金他である	3,200		
(仮払金計)			3,200		
流動資産合計				240,055,622	
(固定資産)					
特定資産					
	建物	看護研修センター 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	134,497,246 4,690,632	
		建物附属設備	看護研修センター 電気設備他一式	うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	4,394 154
	基本財産引当資産	(普通預金) 常陽銀行下市支店	基本財産取得資金の引当資産と して管理している。	2,508,630	
	減価償却引当資産	(普通預金) 常陽銀行下市支店	減価償却資産購入資金の引当資 産として管理している。	36,127	
	運営準備引当資産	(定期預金) 常陽銀行下市支店	同 上	112,018,229	
		(普通預金) 常陽銀行下市支店	公益目的事業及び共益目的事業 の質の向上に使用する資金の引 当資産として管理している。	51,934	
	退職給付引当資産	(定期預金) みずほ銀行水戸支店	同 上	42,275,704	
		(普通預金) 常陽銀行下市支店	退職給付引当金見合の引当資産 として管理している。	2,754,266	
		三菱東京UFJ銀行水戸支店 (定期預金)	同 上	6,707	
	会館維持積立資産	みずほ銀行水戸支店	同 上	200,000	
		三菱東京UFJ銀行水戸支店	同 上	10,015,127	
		常陽銀行下市支店	同 上	38,763,100	
		(普通預金) 常陽銀行下市支店	会館修繕、改修等資金の引当資 産として管理している。	5,145,558	
	(特定資産計)			352,967,808	
その他固定資産	建物	看護研修センター 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	62,302,349 2,172,812	
		看護研修センター(分館) 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	7,148,900	
		看護研修センター(1・2階研修室) 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	79,261,667	
		土浦訪問看護ステーション 土浦市下高津2丁目7番68号 (霞ヶ浦医療センター内)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1,884,134	
		複合型サービス事業所絆 水戸市緑町3丁目5136番地3	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	44,480,925	
			(建物計)	197,250,787	

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
建物附属設備	看護研修センター 電気設備他一式	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37% 公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	84,562,710 2,949,149
	看護研修センター(分館) 電気設備他一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	995,267
	看護研修センター(1・2階研修室) 電気設備他一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1,731,198
	土浦訪問看護ステーション 内装改修工事一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	4,317,884
	複合型サービス事業所絆 電気・防災設備他一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	12,522,743
		(建物附属設備計)	107,078,951
	構築物	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37% 公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	366,633 12,787
		土浦訪問看護ステーション 看板一式	334,689
		複合型サービス事業所絆 外構工事一式	3,161,343
		(構築物計)	3,875,452
	車両運搬具	(共用財産) うち公益目的保有財産92.22% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産7.78% 公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1 0
		公用車4台 (土浦訪問看護ステーション内)	0
		公用車1台 (複合型サービス事業所絆内)	1
		(車両運搬具計)	2
	什器備品	(共用財産) うち公益目的保有財産92.22% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産7.78% 公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	3,251,841 274,336
		事務所付帯設備一式 (看護研修センター内)	2,535,794
		事務所付帯設備一式 (看護研修センター(1・2階研修室))	2
		事務所付帯設備一式 (土浦訪問看護ステーション)	5
		事務所付帯設備一式 (鹿嶋訪問看護ステーション)	107,645
		事務所付帯設備一式 (複合型サービス事業所絆)	
		(什器備品計)	6,169,623
	土地	水戸市緑町3丁目5132番地3、5136番地 1・2 (地籍338.32㎡)	16,000,000
		水戸市緑町3丁目5136番地3 (地籍397.52㎡)	28,064,550
		(土地計)	44,064,550
	借地権	土浦訪問看護ステーション 土盛り費用他	1,053,728
		(借地権計)	1,053,728
	電話加入権	看護研修センター4回線	234,432 5,568
		(電話加入権計)	240,000
	ソフトウェア	(共用財産) うち公益目的保有財産92.22% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産7.78% 公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	0 0
		受講料支払システム他 (看護研修センター内)	0
		(ソフトウェア計)	0
	敷金	青柳駐車場(研修用駐車場) 水戸市緑町3丁目5145-3、5145-6	70,000
		(敷金計)	70,000
		(その他固定資産計)	359,803,093
固定資産合計		うち公益目的保有財産 うち引当資産 うち管理目的及び収益事業等の財源として使用する財産	712,770,901 491,398,711 211,266,752 10,105,438
資産合計			952,826,523

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動負債)	未払金	平成30年度会費	委員会旅費他	27,261,472
	前受金		(未払金計)	27,261,472
			公益目的事業及び収益事業等並びに管理運営の支払いに供する会費の前受分他	54,524,720
	預り金		(前受金計)	54,524,720
	未払法人税等		平成30年3月分源泉所得税他	9,584,296
	未払消費税等		(預り金計)	9,584,296
流動負債合計			収益事業に対する未払法人税等	82,000
			(未払法人税等計)	82,000
			平成29年度確定消費税等	2,186,300
			(未払消費税等計)	2,186,300
				93,638,788
(固定負債)	退職給付引当金	退職給与要支給引当額	公益事業及び収益事業等、管理目的業務に従事する役職員に対する退職給付金の引当金。	51,739,200
			(退職給付引当金計)	51,739,200
固定負債合計				51,739,200
負債合計				145,377,988
正味財産				807,448,535

資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

(1) 資金調達の実績について

借入れの実績		☐ あ り	☒ な し
事業番号	借入先	金額	

(2) 設備投資の実績について

設備投資の実績		☒ あ り	☐ な し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の実績額	資金調達方法又は取得資金の用途
公1	看護小規模多機能型居宅介護事業所絆 サンルーム工事	1,074,442 円	自己資金

監 査 報 告 書

公益社団法人 茨城県看護協会
会 長 相川三保子 殿

平成30年5月10日

公益社団法人 茨城県看護協会

監 事

鈴木 君江 

公益社団法人 茨城県看護協会

監 事

宇梶 孝 

私たち監事は、公益社団法人茨城県看護協会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

公益社団法人茨城県看護協会 平成29年度 決算報告書説明資料

平成29年度は、公益法人として6年目の決算となる。

当協会の決算書は、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準に基づき、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つの会計区分となっています。

公益法人に作成が求められている資料は、「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、そして「財産目録」の3つとなっています。

また、公益法人には、「収支相償」、「公益目的事業比率」、「遊休財産」の3つの財務基準をすべて満たすことが求められています。

平成29年度正味財産増減計算書のポイント(1)

経常収益(科目別内訳)

(単位:千円)

科目	H28決算額	H29決算額	増 減	伸 率
受取会費・受取入会金	86,878	86,330	△548	99.3%
事業収益	397,983	407,074	9,091	102.3%
受取助成金	8,565	8,596	31	100.4%
受取補助金	4,119	4,070	△49	98.8%
雑収益等	18,433	21,298	2,865	115.5%
経常収益計	515,978	527,368	11,390	102.2%

正味財産増減計算書の経常収益についてご説明します。

経常収益は、決算額で527,368千円となり、平成28年度決算額と比較して11,390千円増収、伸率で2.2%増となっています。

その内訳は次のとおりです。

1. 受取会費・受取入会金は、決算額86,330千円となり、平成28年度より548千円の減収となりました。受取会費で、580千円増加したものの受取入会金で1,128千円減少したためです。

① 新会員数は、1,215人で昨年度より94名減(※平成29年度入会見込み数 1,300人)

② 会員数は、14,350人で昨年度より116名増(※平成29年度見込み数 14,200人)

2. 事業収益では、決算額407,074千円で、平成28年度決算額と比較して9,091千円の増収となりました。主な理由としては

① 茨城県委託収益として計上されている訪問看護出向研修事業の出向者が増えたことに伴う出向者に係る人件費相当額の増加

② 日本看護学会—在宅看護—学術集会の参加費として計上されている受講料の増加によるものです。

3. 雑収益等では、保健衛生会館の事務室賃貸料、研修室利用料や、協賛金などが増収となりました。

平成29年度正味財産増減計算書のポイント(2)

経常収益(科目別・会計区分別内訳)

(単位: 千円)

科目	合計	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計
受取会費・受取入会金	86,330	74,243	1,727	10,360
事業収益	407,074	404,824	2,250	0
受取助成金	8,596	8,596	0	0
受取補助金	4,070	3,938	72	60
雑収益等	21,298	8,362	10,839	2,097
経常収益計	527,368	499,963	14,888	12,517

経常収益の科目別・会計区分別内訳についてご説明します。

経常収益の会計区分別内訳は、公益目的事業会計が499,963千円(94.8%)、施設の貸与等の収益事業等会計が14,888千円(2.8%)、総会や理事会等当協会運営の法人会計が12,517千円(2.4%)で経常収益合計は、527,368千円となっています。

経常収益に対する公益目的事業の比率が94.8%と50%を超えているため、公益認定の基準を満たしています。

また、本会定款細則による入会金及び会費の合計額の30%以上を公益目的事業に使用することとなっています。公益目的事業には、受取会費と受取入会金合計額の86%、74,243千円を充当していることからこの基準も満たしています。

平成29年度正味財産増減計算書のポイント(3)

経常費用(会計区分別内訳)

(単位:千円)

	H28決算額	H29決算額	増減	伸率
公益目的事業会計	496,519	513,492	16,973	103.4%
収益事業等会計	7,498	6,927	△571	92.4%
法人会計	13,126	11,641	△1,485	88.7%
合計	517,143	532,060	14,917	102.9%

正味財産増減計算書の経常費用についてご説明します。

経常費用は、決算額で532,060千円となり、平成28年度決算額と比較して14,917千円、伸率で2.9%の増となっています。

会計区分別の内訳では、公益目的事業会計が513,492千円(96.5%)、施設の貸与等の収益事業等会計が6,927千円(1.3%)、総会、理事会等当協会の運営に支出した法人会計が11,641千円(2.2%)となっています。前年度に比べ公益目的事業会計で、16,973千円増加、収益事業等会計で、571千円、法人会計では1,485千円それぞれ減少しています。

主な増減の理由は、次のとおりです。

1. 公益目的事業会計では、茨城県委託業務のうち、訪問看護出向研修事業などの経費が増額となりました。

組織力強化のため、経理部門や訪問看護ステーションで人員配置を増やしたことにより人件費等が増額となりました。

2. 収益事業等会計では、新会員情報管理体制の導入に伴う周知に必要な経費等が減額となりました。

3. 法人会計では、通常総会用冊子印刷経費等が減額となりました。

正味財産当期増減額

正味財産増減計算書のポイント(2)とポイント(3)と合わせてご覧ください。

- 経常収益合計額527,368千円から経常費用合計額532,060千円を差し引いた当期経常増減額は、△4,692千円となっています。
- 当期経常増減額の会計区分別内訳は、公益目的事業会計で△13,529千円、収益事業等会計で7,961千円、法人会計では876千円となっています。

平成29年度正味財産増減計算書のポイント(4)

定款事業別経常費用(公益目的事業別・事業別内訳)

(単位:千円)

事業名	決算額	構成比
1. 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	107,221	20.9%
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	62,845	12.2%
3. 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善への提言に関する事業	6,053	1.2%
4. 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業	81,867	15.9%
5. 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営	255,506	49.8%
経常費用計	513,492	100.0%

定款事業別経常経費についてご説明します。

経常経費のうち公益目的事業会計の定款事業別経常費用の事業ごとの内訳は、次のとおりです。

1. 教育・研修等による看護の質の向上に107,221千円
2. 看護職の労働環境等の改善等に62,845千円
3. 看護業務の調査研究及び情報収集等に6,053千円
4. 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉等に81,867千円
5. 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営に255,506千円の支出となりました。

平成29年度決算と財務3基準①収支相償

収 入	費 用
公益目的事業に係る経常収益 499,963千円	公益目的事業に係る経常費用 513,492千円
収益事業から生じた利益の繰入額等 3,950千円	
503,913千円	513,492千円

<

本会の平成29年度決算と公益法人財務3基準の適合状況についてご説明します。

公益法人には、①収支相償、②公益目的事業比率、③遊休財産の、いわゆる「財務3基準」をすべて満たすことが求められます。

①収支相償については、公益目的事業に係る収入が、その実施に要する費用を超えないことが、要件となっています。

本会の平成29年度決算の、正味財算増減計算書における公益目的事業の経常収益は499,963千円で、公益目的事業の経常費用の513,492千円を下回り、他の調整項目を加えた結果においても、基準を満たしています。

平成29年度決算と財務3基準②公益目的事業比率

公益目的事業の経常費用

公益目的事業の
経常費用

+

収益事業等の
経常費用

+

法人会計の
経常費用

≒ 96.5%

≧ 50%

②公益目的事業比率については、公益目的事業費の比率が、収益事業等と法人の管理運営費用とを加えた事業費全体の50%以上であることが基準となっています。

本会の平成29年度決算の、正味財産増減計算書における経常費用の合計 532,060千円に対する、公益目的事業の経常費用513,492千円の比率が約96.5%と、事業費用全体の 50%を超えるため、基準を満たしています。

平成29年度決算と財務3基準③遊休財産の保有制限

遊休財産※ 305,944千円	$\leq$	公益目的事業の 経常費用 513,492千円
--------------------	--------	------------------------------

※ 資産－負債－(控除対象資産－対応負債)

③遊休財産については、遊休財産(すなわち、用途の定まらない蓄積した財産)の額が、公益目的事業を行うのに必要な1年分の額を超えないこととされています。例えば会館維持積立資産や、運営準備引当資産など、本会が特定の用途のために保有している資産にも、遊休財産とみなされるものがあります。

本会の貸借対照表をもとに算定した遊休財産額は、平成29年度末で305,944千円で、正味財産増減計算書に反映されている公益目的事業の経常費用513,492千円を超えないため、基準を満たしています。

本会の平成29年度決算は、公益法人の財務3基準をすべて満たした決算内容となっています。